

ほうれんそう

《新・尼崎の本棚 151》

尼崎市立北図書館

尼崎市南武庫之荘3-21-21

TEL (06) 6438-7322

FAX (06) 6438-7344

<https://www.amagasaki-library.jp/>

朗読ボランティア

図書館では本の貸出だけでなく様々なサービスを行っています。その一つに読書支援サービスがあります。尼崎市立図書館では、目の不自由な方や、活字での読書が困難な方を対象に、録音図書や点字図書の貸出を行っています。また、大活字本や、絵や写真を使ってわかりやすく作られたLLブックなどのバリアフリー図書も取り揃えています。

北図書館では、視覚障がいのある方への対面朗読や、朗読会を行っています。そうした活動を支えてくださっているのが、ボランティア「グループ ま・どんな」の皆さんです。主に、書籍や広報誌などを音声にして伝える「音訳」の活動をされています。1990年からは北図書館で対面朗読を、2006年からは「障がい者と高齢者向けの朗読会」で読み手を務めてこられました。より多くの方に本の世界を届けたいとの思いから、朗読会の名を「大人のための朗読会」へと変え、2026年1月には記念すべき200回を迎えました。毎月第3水曜日（8月を除く）に開催しており、たくさんの方にご参加いただいています。「ていねいに、わかりやすく、聴きやすく、そして、主導権は聴き手」を大切に、日々練習を重ねながら活動されています。

本を読むことが難しい理由は人それぞれです。だからこそ障害の有無にかかわらず、すべての人が読書を楽しみ、文字・活字文化に親しむことができる環境が大切です。図書館は今後もボランティアと連携し、誰もが読書を楽しめるよう、読書支援サービスの充実に努めていきます。

【参考文献と関連本】

『読書バリアフリー』読書工房／編著 国土社 222014234

『平井先生。図書館では、視覚障害がある方に向けてどんな支援ができるの？』

平井利依子／著 DBジャパン 212378647

9月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
⑥	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

10月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
④	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

11月

日	月	火	水	木	金	土
①	2	③	4	5	6	7
⑧	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

開館：午前9時～午後8時（日曜・祝日は午後5時15分まで）

休館

絵本の世界にまよいこもう！巨大めいろ

【日 時】9月21日(月・祝)～23日(水・祝) 午後1時～3時(15分前開場)
【場 所】3階集会室
【対 象】子どもとその保護者
【申 込】不要



図書館の中に大きなめいろが出現！おはなしクイズをといてゴールを目指そう！

※文字が読めないお子さんは、できるだけ保護者同伴でご参加ください。

※会場の混雑時には入場制限をかける場合があります。



バリアフリー映画会



上映作品:「じんじん」

2013年製作／129分／日本／企画・主演:大地 康雄／監督:山田 大樹

【日 時】10月24日(土) 午前10時～午後0時20分

【場 所】3階集会室

【対 象】どなたでも

【定 員】先着30人

【申 込】9月25日(金)～1階カウンター、電話、またはFAXにてお申込みください

電話:(06)6438-7322

FAX:(06)6438-7344

【費 用】無料

視覚・聴覚に不自由のある方も一緒に楽しめる映画会です。

「日本語字幕」と「音声解説」が付いています。

※状況により内容の変更・中止となる場合があります。



お知らせ

9月8日(火)～9月11日(金)の4日間、北図書館では尼崎市内の中学生の職場体験として「トライやるウィーク」を実施します。

カウンターやフロアで活動します。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

〈9月の展示〉

1階 一般大展示 「時代小説、あります」

2階 参考展示 「植物の世界」



大人のための朗読会

【日 時】 9月16日(水) 午後2時から1時間ほど

【場 所】 3階 集会室

【内 容】 『鉄道員(ぽっぽや)』より
「うらぼんえ」 浅田 次郎/著

朗読はボランティア「ま・どんな」のみなさんです。

※状況により、内容の変更・中止になる場合があります。

人を読む 宮部みゆき

<みやべ みゆき>1960年～東京都生まれ。『我らが隣人の犯罪』でオール讀物推理小説新人賞、『龍は眠る』で日本推理作家協会会長編部門、『理由』で直木賞ほか受賞作多数。

『おそろし』三島屋変調百物語 宮部 みゆき[著]/角川書店

17歳のおちは、ある事件をきっかけに心を閉ざし、江戸の神田三島町にある叔父夫婦の商家に預けられる。ある日、叔父・伊兵衛から来客の対応を任されたおちは、客の話を聞くことになり……。様々なものを抱えた人々が店に現れ、語ってゆく不思議な変わり百物語。

『ほのぼのお散歩(かち)日記』 宮部 みゆき[著]/新潮社

「江戸人の距離感を足でつかもう！」と、赤穂浪士がたどった道、真冬に「市中引廻し」コース、またあるときは箱根越え。著者の本音が詰まったエッセイ「平成お散歩日記」(平成13年刊)に書き下ろしを加えて改題。平成篇から二十五年の歳月を経て令和番外篇を加えた新装完全版。

『チチンパイパイ』 宮部 みゆき[著]・室井 滋[著] /文藝春秋

ミステリー作家と女優でエッセイストの2人が美味しいものを食べつつ、お互いの仕事や生活など、様々なことについて率直に語り合った対談集。宮部みゆきの書き下ろしエッセイと、室井滋が初挑戦したミステリー作『ミラーの中の女』を収録した一冊。

『ヨーレのクマー』 宮部 みゆき[作]・佐竹 美保[絵] /KADOKAWA

クマーはフィヨルドを見下ろす山に住む透明な怪獣です。フィヨルドのそばにあるヨーレの街を悪い怪獣からずっと守っていました。ところがある日、怪獣を追い払った時に怪我をして、大事な角も折れてしまい……。著作『悲嘆の門』幻の作中作を絵本化。【3～5歳】

東京都立墨田川高校卒業後、法律事務所等に勤務しながら小説を執筆。1987年に『我らが隣人の犯罪』で小説家デビュー。著作にはミステリーだけでなく、劇場版アニメの原作となった『ブレイブ・ストーリー』や時代小説『本所深川ふしぎ草紙』、俳句から紡ぎ出した短編小説集『ぼんぼん彩句』、『ここはボツコニアン』などがある。

児童室

おはなし会



第1・第2・第3 土曜日 場所:3階集会室

おひざ (0~2歳くらい) 午後2:00~
 小さい人 (3~5歳くらい) 午後2:15~
 大きい人 (小学校低学年) 午後2:40~

9/5(土)

●おひざのうえ

「たいこ」
 「ふうせんねこ」

○小さい人

「どうぞのいす」
 「おむすびころりん」

◎大きい人

「はちうえはぼくにまかせて」
 「おいとけ堀」

9/12(土)

●おひざのうえ

「ぴーぴーぱつくしまーす」
 「にこにここここ」

○小さい人

「いってらっしゃーいってきまーす」
 「あなのはなし」

◎大きい人

「おとなりさん」
 「三枚のお札」

9/19(土)

●おひざのうえ

「くつくつあるけ」
 「おつきさますーやすや」

○小さい人

「おつきみうさぎ」
 「ひなどりとネコ」

◎大きい人

「お月さまってどんなあじ？」
 「地獄からもどった男」



第1・第3 水曜日
 あかちゃんひろば

場所:1階絵本コーナー
 9/2(水)、9/16(水)
 午前11:00~11:20

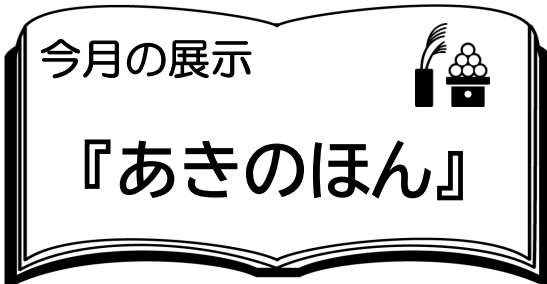
0歳~2歳くらいのお子さんと保護者向け
 赤ちゃん絵本、わらべうた、手遊びなど



第2・第4 日曜日

場所:1階ロビー 2歳くらいから
 9/13(日)、9/27(日)
 午前11:00~11:20
 季節の絵本や紙芝居など

9月



日	月	火	水	木	金	土
		1	2 🐰	3	4	5 🐶
6 🐶	7	8	9	10	11	12 🐶
13 🐶	14	15	16 🐰	17	18	19 🐶
20 🐶	21	22	23 🐶	24	25	26
27 🐶	28	29	30			

🐶 日・祝日は午後5時15分まで